

5分で読める 医療安全ニュース 9期/5号

状況認識(Situation Awareness)



● ノンテクニカルスキル

1. ノンテクニカルスキルとは、コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップ、**状況認識**、意思決定などを包含する総称で、チーム医療における安全や質の確保に必要とされています。
2. 詳細については、医真会八尾総合病院医療安全ニュース「7期/3号 テクニカルスキルとノンテクニカルスキル」をご参照ください。医真会 HP からいつでも確認できます。左図参照
3. 今回はその中のひとつ、「状況認識」についてピックアップしました。

● 状況認識とは

1. 状況認識について、「運転中に異音が生じて緊急停止させた」、という事例で考えてみましょう。
2. 状況認識には3つのレベルがあるとされています。まず1つ目は、なんか変だぞ？と異変を感じるところです。走行中異音に気づき、どんな音か？どこからなのか？の**データ(情報)を集めている**場面です。
3. 2つ目は、定期的にかちかちとなっている、速度を速めると間隔が短くなる、音がしている方向は右前方だ、これはタイヤに何か異変が起こっている可能性がある、と**状況を把握し原因を特定**します。
4. 3つ目は、このまま走り続けているとタイヤがバーストし事故を起こすかもしれない、早々に非常駐車帯に止めなければ、と**事態を予測**することです。
5. 何かおかしい？と感じても何もなかったことを警鐘した医療安全ニュースが「8期/8号 何かおかしい？モヤモヤしたときは・・・」です。左図参照
6. 以前、講習会(左記下)で航空機事故の80%は、この「何か変だ」に気付かなかったから事故になってしまった、という報告もあると聴きました。当事者にとっては「後知恵バイアス」なのかもしれませんが・・・
7. 医療の現場では「何か変だ」をスルーして肺と心臓の手術を取り違えたことはあまりにも有名ですね。
8. 幸いにも事故影響レベルは低いですが、「この患者さんの内服薬もう少し多かったような？」をスルーして服用できなかった、など同様な事例は当院でも報告されています。この事例報告には「状態の変化があったので減ったのだらうと思った」と異なるバイアスもかかっていた。
9. つまり、「何か変だ」を感じたらそのままにせず、レベル1→データを収集する、レベル2→状況を把握する、レベル3→事態を予測する、ことが事故防止に役立つ可能性があるというわけですね。

1. 「集中すると周りが見えない～」の例、白い服のチームが何回パスをしたかを数える動画。
<http://www.theinvisiblegorilla.com/videos.html>
2. 「機能的固着～」の例、民間航空機の副機長の妻に起こった医療事故。「Just a routine operation」で検索をすると確認できます。英語が？の方は以下。日本語字幕付き。
<http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/hp-cqm/ingai/instructionalprojects/teamperformance/index.html>

参考・引用：平成29年度医療安全推進指導者講習会資料 大阪大学付属病院 中央クオリティマネジメント部 教授 部長 中島和江より

医療安全ニュース「7期/15号
あれっ！いつもと違う！高めよう
アウェアネス」もご参照ください。